

令和8年度予算見積調書

課室名：財政課
担当名：予算総括担当
内線：2174

(単位：千円)

番号	事業名	会計	款	項	目	説明事業	
P5	新予算編成システム構築事業	一般会計	総務費	総務管理費	財政管理費	予算編成システム維持管理費	
事業期間	令和8年度～ 令和10年度	根拠 法令	なし	針路 分野施策	08 0805	支え合い魅力あふれる地域社会の構築 デジタル技術を活用した県民の利便性の向上 SDGsゴール9 SDGsターゲット9-1	
1 事業概要	予算編成の一連の作業の支援を行う予算編成システムについて、予算編成作業に係る作業量を軽減させるとともに、予算編成過程に係る公表項目を拡大させるため、新たな予算編成システム構築のための準備を行う。	新予算編成システム構築準備事業	22,142千円	5 事業説明	<p>(1) 事業内容 新しい予算編成システムの構築のため、予算編成作業に精通した専門業者による課題の抽出、予算編成過程の公開手法の検討等を実施した後に府内の合意形成を図り、構築を進める上での根幹となる基本計画を策定する。</p>		
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)				(2) 事業計画 令和8年度：基本計画策定、令和9年度：要件定義書、仕様書案の作成、 令和9～10年度：システム構築（令和11年4月からのシステム稼働を想定）	<p>(3) 事業効果 ア 予算編成作業に係る作業量の軽減により、適切に各事業が執行されるとともに新たな施策立案の時間が確保されることで全庁的な生産性が向上する。 イ 予算編成過程に係る公表項目が増えることで県の施策決定に対する透明性が高まる。 【活動指標（アウトプット）】・新システム仕様書の作成及び新システムの構築 【成果指標（アウトカム）】・ワークフローの一元化、システム内でのデータ分析、過去の部局とのやり取りなど 経緯の蓄積などによる業務の効率化（15業務を目標） ・既存の公開項目に新たな項目を追加（5項目を追加で公開）</p>		
3 地方財政措置の状況 なし							
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.5人＝14,250千円							
予算額		財 源 内 訳				一般財源	前年との対比
決定額	22,142					22,142	22,142
前年額	0					0	

事業内訳書

事業名	新予算編成システム構築事業		
単位事業名	新予算編成システム構築準備事業	予算額	22,142千円

○歳入

(単位 : 千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	22,142	22,142	
合計	22,142	22,142	

○歳出

(単位 : 千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	545	545	他県先進事例視察 3回分
委託料	21,597	21,597	新予算編成システム構築支援業務委託
合計	22,142	22,142	